

Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98

リリース・ノート

R6i Patch3b

2001 年 5 月

部品番号: J03982-01

このドキュメントには、リリースの時点で分かっている情報をすべて掲載しています。リリース後に明らかになった情報は、通常のカスタマーサポートから入手できます

ORACLE®

Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。Oracle Forms Developer、Oracle9iAS Forms Services、Oracle Reports Developer、Oracle9iAS Reports Services、Oracle9i Application Server は Oracle Corporation の商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

Copyright © 2001, Oracle Corporation
All Right Reserved

目次

第 1 章	Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6i Patch3b の適用	3
	パッチの適用に関して	3
	CD の内容	3
	インストールに関して	4
	このパッチで修正される不具合	4
第 2 章	既知の制限事項.....	5
	WebForms でのデフォルト警告ダイアログの表示に関する問題.....	5
	インストールされるドキュメント	5

第 1 章 Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6i Patch3b の適用

パッチの適用に関して

Oracle Designer for Windows R6i (部品番号 J02570-03)と Oracle Developer R6i を連携して使用する場合は必ず Oracle Developer R6i Patch3b を適用してください。Oracle Designer for Windows R6i (部品番号 J02570-03)と Oracle Developer R6i Patch4 との連携動作はサポートされておられません。

日本語環境で Oracle9i Application Server Enterprise Edition R1.0.2.1 の Oracle Developer Server 機能 (Oracle9iAS Forms Services および Oracle9iAS Reports Services) をご使用の際は、Oracle Developer R6i Patch4 を適用してください。詳細は、既知の制限事項の章を参照してください。

このパッチを適用する場合には、あらかじめ Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6i がインストールされている必要があります。

このパッチの適用後、他の製品を同じ ORACLE_HOME にインストールした場合、GUI Common Files および Tools Utilities のパッチを再度適用してください。

パッチを適用する場合は、インストールされているすべてのコンポーネントにパッチを適用する必要があります。たとえば、Forms のみにパッチを適用し、使用することはサポート対象外となります。

Forms または Reports の one-off パッチを適用する場合は、Patch3b をインストールした後に、それらのパッチを再度適用する必要があります。

CD の内容

CD のルートディレクトリには次のディレクトリおよびファイルがあります。

¥INSTALL

¥COMPS

¥EXTRAS

¥WIN32

SETUP.EXE

AUTORUN.INF

README.DOC

README.DOC が英語版 README ファイルです。

このパッチには、コンポーネントを以下のバージョンにアップグレードするためのモジュールが含まれています。

BALISHARE	1.1.7
DE	6.0.8.12.1
EWT	3.4.3
FORMS	6.0.8.12.1
JDKAV	1.1.8.3o
JINIT	1.1.8.3o
LANG	6.0.8.12.1
OG	6.0.8.12.0
OR	6.0.8.12.2
TK	6.0.8.12.1
VGS	6.0.5.36.0

インストールに関して

注意:インストールを行う前に全ての Windows アプリケーションを終了させてください。

注意: Oracle E-Business Suite 11i ユーザーは Oracle E-Business Suite 11i のドキュメントを参照してください。

1. 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」から
D:\SETUP.EXE
を実行します。
(D:には CD ドライブに割り当てられた文字を指定します。)
 2. 「Oracle インストール設定」ダイアログにおいて、Oracle Developer R6i がインストールされている ORACLE_HOME を指定します。
 3. インストーラのダイアログに従って、コンポーネントをインストールします。
- インストーラについての詳細は製品添付のインストレーション・ガイドでもご覧いただけます。

このパッチで修正される不具合

修正される不具合の一覧は英語版の README ファイルを参照してください。

第 2 章 既知の制限事項

WebForms でのデフォルト警告ダイアログの表示に関する問題

WebForms を実行する際に Forms が内部的に持っているデフォルトの警告ダイアログを利用するとダイアログに表示されるボタンが文字化けします。この問題は日本でリリースされる Oracle Developer for Windows NT and Windows 95/98 R6i Patch4 で修正されています。

インストールされるドキュメント

Oracle Developer R6i Patch3b によりインストールされるドキュメントは、以前のバージョンのものです。Patch3b 用のドキュメントは、ドキュメント CD を参照してください。